

査読者指針

1. 背景

査読は、科学論文公表過程における根幹をなし、編集者が論文の掲載可否を判断する上で必要不可欠です。また、著者に原稿を改善する貴重な機会を提供します。一方、出版規範委員会 Committee on Publication Ethics (COPE) 「査読者のための倫理指針」 Ethical Guidelines for Peer Reviewers (https://publicationethics.org/files/Ethical_Guidelines_For_Peer_Reviewers_2.pdf) は次の様に述べています：「査読者（ピアレビューアー）は、査読の過程で、中心かつ決定的に重要な役割を果たしますが、手引きも無しに任務に就き、自身の倫理的責務を認識していない場合があります。出版者側には、査読についての透明性のある方針を提示する責務があり、査読者には、倫理的に説明責任を果たす心構えで査読を行う責務があります。」
“Peer reviewers play a central and critical part in the peer review process, but may come to the role without any guidance and be unaware of their ethical obligations. Journals have an obligation to provide transparent policies for peer review, and reviewers have an obligation to conduct reviews in an ethical and accountable manner.” 私どもの今回のこのお知らせは、COPE 指針および医学雑誌編集者国際委員会 International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) 「医学雑誌における学術研究の実施、報告、編集、出版に関する推奨事項」 Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals (ICMJE Recommendations) (<http://www.icmje.org/recommendations/>) に準拠することを目的としています。

2. 守秘義務

査読プロセスでは厳格な守秘義務があります。投稿原稿について、編集局以外の部外者と論じたり共有することを避けてください。公表前の審査中の論文を、査読者自身の研究で引用することは認められません。査読済みの原稿は如何なる形でもコピーや保管をしないでください。

3. 適任性と適時性

査読者候補は、ご自身の専門性と、提示された期限内に査読が可能であることを考慮して、適切と判断される原稿を受け入れてください。これらやその他の理由で査読を遂行できない場合は、他の査読適任者の推薦を歓迎します。

4. 査読者の利益相反

査読者ご自身に、査読を偏らせる可能性のある潜在的な利益相反が存在する場合、理想的には査読を開始する前に、開示をお願いします。必要に応じて、編集者から、査読の辞退をお願いする場合があります。査読に際し、被引用数を増やすためにご自身の論文の引用を著者に勧めることはお控えください。

5. 匿名性

厳密な査読を保証するために、本誌は片側匿名査読 **single-blind review** を採用しています。この場合、査読者は著者には匿名ですが、著者は査読者に顕名となります。著者はカバーレターで、査読候補者を推薦することを推奨されておりますが、査読者の選任は編集者の裁量に任されています。匿名性を維持するために、著者への直接の連絡はお避けください。

6. 審査の過程

編集者は、投稿された原稿が潜在的に掲載可能か否かを評価します。査読に適さない投稿と判断した場合、編集者は著者に決定通知を送信します。査読に適する投稿と判断した場合は、編集者が選任した通常 2 名の千葉医学会会員あるいは外部専門家に査読を依頼します。

査読者の評価に基づいて、編集者は原稿の受理、修正、不採択の決定を行います。査読に基づく最初の決定までに要する時間は、通常、投稿から 3~4 週間です。

修正を要請された場合、著者は決定通知に指定された期日までに改訂原稿を提出する必要があります。また、改訂版に添付するカバーレターにおいて、著者は、査読者のコメントおよび編集部からの要請に対する逐一の詳細な回答を求められます。

本誌は隔月で発行され、掲載までの期間は通常、採択後 3~4 ヶ月です。

7. 原稿の評価基準

(1) ご担当の原稿を査読される際は、次の点にご留意ください。

- A. 本誌の読者に対する原稿の適合性
- B. 研究の独創性
- C. 方法論的および技術的な妥当性
- D. プレゼンテーションの明確さ
- E. 出版倫理、研究倫理、および関連する倫理の遵守
- F. 本誌投稿規定への準拠

(2) 特に科学的および医学的内容に関連しない不当な批判はお避けください。

8. 報告書の作成

(1) 著者へのコメント

A. 一般的なコメント

初めに、上記「7. 原稿の評価基準」に記載の項目に基づき、原稿の意義や重要性、あるいは改善が必要な短所について、全般的な見解を記載してください。著者へのコメントには、論文の受理、不採択の可能性については言及しないでください。

B. 具体的なコメント

著者、査読者、編集者間の連絡を円滑にするために、研究の具体的内容に関する各コメントに通し番号（1, 2, 3 など）をふってください。

(2) 編集者へのコメント

A. 総合評価

以下に項目に関する校閲票の質問に回答してください。

- a. 科学的妥当性
- b. 重要性
- c. 倫理
- d. 長さ
- e. 言語スキルと表現

B. 個別項目の評価

校閲票の以下に関する質問に回答してください。

- a. 表題
- b. 抄録
- c. キーワード
- d. 図と表
- e. 投稿規定への準拠

C. 原稿を直ちに受理する、多少の修正後に受理可能、大幅な改訂後に再検討する、不採択とする等、推奨される判定を回答してください。

D. 著者には伝えない、編集者宛てのコメントを記載してください。

E. 修正後に再投稿された場合、再査読をお引き受け頂けるか、回答してください。